

ゼミナール大会のご案内(経済学類)

12月5日(火)、ゼミナール大会が開催されます。ゼミナール大会は、経済学類の各演習による日頃の研究成果を発表するものです。

演習配属を控えた2年生を初め、他学年の皆さんも是非、ご参加ください。

日時：12月5日(火) 午前の部・・・10:00～12:00、 午後の部・・・13:00～16:00

会場：人間社会第1講義棟 201・202・203・204 講義室

大会プログラム

<午前の部>

第1分科会(201講義室) 10:00～12:00

第1報告:「業績が悪化するほど利益が生まれる!? ～負債のパラドックス～」・・・会計学原理演習 キーワード: 借金から生まれる利益、企業分析、簿記

概要: 2008年9月、リーマンショックに端を発して世界的な金融危機に陥った。アメリカでは金融機関6社が10～12月の3ヵ月で計2.5兆円の赤字を出した。しかし、同6社は次期2009年1～3月には計1.5兆円の利益を計上した。金融危機の中、突如として現れたこの利益こそ「負債の時価評価益」である。世界的には認められているこの会計のルール、日本ではどう扱うべきか。

第2報告:「地銀の荒波に抗う北國銀行」・・・財務会計論演習 キーワード: 地方銀行・働き方改革・クラウド会計

概要: 少子高齢化、人口減少を背景とした地域経済の市場縮小や労働力不足、ネット銀行・メガバンクとの共存等、様々な課題を抱えている地銀の現状は厳しく、いかに新サービスを提供し地域の活性化に貢献できるかがカギとなる。当ゼミでは石川県内シェア No.1 の北國銀行の独自の戦略を取り上げ、北陸地域において将来性のある地銀のビジネスモデルについて考える。

第2分科会(202講義室) 10:00～12:00

第1報告:「石川県及び金沢市の地価、交通事故、外国人観光客の分析」・・・経済統計学演習 キーワード: 観光客、地価、交通事故

概要: 石川県及び金沢市について三つの側面から統計的分析を行った。第一は金沢駅周辺の地価変動について。第二に金沢市内各校下の交通事故率と住民の年齢構成の関係性について。事故率が高い校下は交通状況も加えて考察した。第三は外国人観光客の消費構造の特徴を他の都道府県と比較した。

第2報告:「社会実験とアンケート調査」・・・理論経済学Ⅲ演習 キーワード: 社会実験、アンケート、節電

概要: 近年、人為的な要因による気候変動に関心が高まり、世の中には省エネを進める動きが広まっている。その中で、我々は省エネ告知活動によって電気使用量はどの程度変化するのかを計測する社会実験を行った。そして社会実験の前後での学生の節電に対する意識変化をアンケートによって調査した。

第3分科会(204講義室) 10:00～12:00

第1報告:「地方創生のために地方金融機関がすべきこと」・・・金融経済論演習(A) キーワード: 地方金融、地域経済、地方創生

概要: 我が国では、東京圏への人口一極集中、地方の人口減少が進行し、将来における少子高齢化の進行、地方のさらなる過疎化が心配されている。このような状況の中、地方が生産性を上げ、都市部から地方への人口の流れを作り出し、地方が活性化し好循環の流れを作り出すことが重要である。地方活性化の実現のためには、地域の中小企業や地方金融機関の働きが重要であると考え、それが実質県内総生産の成長率にどのような影響があるのか分析を行い、政策を提言する。

第2報告:「金融行政と銀行経営」・・・金融制度論演習 キーワード: 金融検査マニュアル、日本型金融排除、貸出金利、経営改革

概要: 近年まで金融行政が邦銀に不良債権を発生させない経営を強いてきたことが、低金利融資の競争を招き、収益力を低下させた。森金融庁長官は元来の金融行政を改め、邦銀の経営改革を支援する意向を示す。本報告は、邦銀がいかに事業モデルを再構築し、収益力を回復させるか、北國銀行等の実例を参照し、その検討を目的とする。

海外インターンシップ(シンガポール)の紹介(12:15～12:45、201講義室)

＜午 後 の 部＞

第 4 分 科 会 (201 講 義 室) 13:00～15:00

第1報告:「日経ストックリーグ中間報告」・・・情報科学演習 キーワード:日経ストックリーグ、株式投資、統計学

概要: 情報科学ゼミは、統計学基礎とファイナンスの基礎の勉強を学んでおり、その知識を活かして「日経ストックリーグ」に参加する。ここでは、バーチャルで500万円がそれぞれチームに与えられ、それぞれ目的を持って企業に株式投資を行う。現在その株式投資のポートフォリオを組んでおり、今回、投資までの過程を報告する。

第2報告:「転換期に立つヤマト運輸 ～ラストワンマイルからの挑戦～」・・・経営管理論演習 キーワード: 宅配便、ラストワンマイル、ドライバー不足、働き方改革

概要: 運輸業界の中でも宅配便事業に重点を置くことによって独自の地位を築いてきたヤマト運輸。しかし、その経営は今転換期にさしかかっているように見える。そのことは、今年に入ってから、マスコミでも大きく取り上げられている。そこで、同社の「これまで」と「これから」を、様々な角度から分析する。

第 5 分 科 会 (202 講 義 室) 13:00～15:00

第1報告:「激動の国際経済における国際金融の変容」・・・国際金融論演習 キーワード: FinTech、最適通貨圏、国際通貨体制

概要: アメリカにおけるトランプ大統領の登場やヨーロッパにおける極右政党の台頭、そして新技術であるFintechの登場など国際金融の枠組みは大きな変革の時を迎えている。本ゼミでは国際金融の今後をアメリカ・ヨーロッパ・Fintechの3つの視野から分析、提言する。

第2報告:「中所得国の罠から脱出するには」・・・金融経済論演習(B) キーワード: 中所得国の罠、新興国経済、経済発展

概要: 近年の世界全体の経済成長はめざましい一方で、高成長を実現した後に経済が停滞することが懸念されており、各国は持続した経済成長の可能性を探っている。本稿の目的は、その「中所得国の罠」の段階にある国がそこから脱出するために必要な政策を立案することである。中所得国の国が高所得国の基準を越えるには何が必要か、先行研究をもとに高所得国の国と中所得国の罠に陥っている国を比較分析し、政策提言を行う。

第 6 分 科 会 (203 講 義 室) 13:00～16:00

第1報告:「奇跡の村の復活～出生率2を超えた下條村のこれから～」・・・地方財政論演習 キーワード: 人口減少、少子化、奇跡の村

概要: 地方財政論ゼミでは、長野県下條村に注目する。この下條村は山奥の小さな村であるが、早くから少子化対策を行い、合計特殊出生率はおよそ2を記録したこともあり、奇跡の村と呼ばれている。今回、私たちは財政面、移住面、産業面の三つの視点から下條村を分析し、これからの村の在り方を提案する。

第2報告:「都市農村間の交流・連携と地域経済システム～群馬県川場村・みなかみ町を事例に～」・・・地域経済論演習 キーワード: 都市農村間の交流・連携、経験価値、地域資源の活用、wow!

概要: 小さな村でありながら、30年間世田谷区と交流を維持してきた川場村。市町村合併はしたものの、現在ラフティングのメッカとして注目されているみなかみ町。この二つの群馬県の地域を事例に、都市農村間の交流・連携の変化について考える。

第3報告:「白山市尾口地区の地域開発を考える」・・・環境経済論演習 キーワード: 生きがい農業、エコツーリズム、移住、そして産業振興

概要: 白山ろくの尾口地区を調査し、そこから発見した尾口地区の課題について考察する。生きがい農業、エコツーリズムといった農による地区の豊かさについて移住、産業振興といった行政との連携が必要な課題についてヒヤリング、アンケートをもとにそれぞれ考察する。

第 7 分 科 会 (204 講 義 室) 14:00～16:00

第1報告:「リベラリズムの本質と思想の衝突—「正しい」我等と「過激な」彼等—」・・・国際公共経済論演習 キーワード: リベラリズム、宗教、思想の対立と過激化

概要: 現代はリベラリズムの時代である。自由、平等、平和、人権等のリベラルな価値観が世界的に浸透している。にもかかわらず、排他主義などの反リベラルな主張が支持を集めたり、リベラルな社会を攻撃するテロが頻発するのは何故なのか。自由、平等、平和、人権の何が問題なのか。リベラリズムの歩みから、それを解明していく。

第2報告:「女性ファッション誌の言語的傾向調査」・・・社会言語学演習 キーワード: 女性雑誌、年代、比較

概要: 女性ファッション誌は、競合他社の多いものである。その中で、狙った相手に手に取ってもらうためには様々な工夫がされているはずである。各年代の前表紙に使われている文字の数、色、フォントなど何気なくには気が付かない細かな特徴を比較することによって、魅力的な雑誌とは何かを探る。

インターンシップの報告会(16:15～、201講義室)